

# なかじま三四郎の 真夏の活動報告!!



発行責任  
箕面市議会議員  
なかじま三四郎  
発行日 / 2016年7月26日  
〒562-0014 箕面市萱野1-18-1-302  
電話 / 072-720-6535  
E-mail / 346@hcn.zaq.ne.jp

TEAM  
346

なかじま三四郎活動報告



憲法改正とか騒がしいけど

日本はどうなる? 大阪はどうなる?

暮らしはどうなる?

これからの少子高齢化での不安要素…年金あるのかな? 認知症になったら家族に申し訳ないし

## ◎相談その1 介護離職のケース

父が認知症になり、仕事を辞めざるを得

なくなつた。貯蓄を切り崩す生活…底を尽きかけたとき、やっと親の入れる施設が決まったものの、利用料が月額10万円…とても払えない! なんてそんなことになってんの?



## ◎相談その2 介護する家族のケース

親の言動がなんだかおかしい…認知症と診断されてから半年…振り回されて私の生活めちゃくちゃ! どうやって接したらいいの? 他の介護してる人たちってどんなふうに関知症と向きあつてるの?

一方で…認知症の人は…

なんだか娘がいつも怒ってる。怖い。外へ出て行くのも怖い。どうしたらいい? とおびえているようです。

## ◎なかじま三四郎が取り組むこと!

↓中学校区に一つ以上の認知症カフェの設置に取り組みます。議員生命をかけて。

## ◎なかじま三四郎が取り組むこと!

↓前年度収入による利用費算定に対して現年度収入が見合わない人に助成する仕組みを整備します。やり抜きます。

## 認知症 カフェとは?

認知症の人とその家族、専門家、地域住民が集える場所。認知症の人たちが安心して過ごせ、介護者同士も悩みを分かち合える場として全国的に取り組みが広がってきています。厚生労働省の「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」の一施策として記載されています。

制度にも、法律にもスキマがある。なかじま三四郎は、そこに入り込んでしまう人たちを探し出し、社会課題として市政に訴えます!





# ブレずに直進 34歳 若さで実行 なかじま三四郎

## 緊急提言

## 持続可能なエネルギー社会へ

福島原発事故から5年。いまだに避難生活を続けたり、外で子どもを遊ばせられずに生活をしている人たちが多くいます。福島の家族の保養活動に関わり続けている三四郎は思います。「生活を脅かすエネルギーはいらない！」

箕面の中で取り組める自然エネルギーを使った発電の仕組みを、市民と協働して考えていきます。

## 緊急 提言

もう二度  
と子ども  
たちを戦場  
におく  
らない。



世界中で相次ぐテロ、内戦。日本も、いつ戦争ができる国になるかわかりません。しかし、自分たちの国を守ることは、他の国の誰かを攻撃できることは別の問題です。

国を守り、地域を守ることは、その国・地域に暮らす人々の生きる権利を守ることに。武力が武力を呼び合っている、やがて破滅に至ることを私たちが歴史で学びました。平和な解決こそが求められます。三四郎は粘り強く働きかけます。



中嶋三四郎で  
検索



こちらから  
どうぞ



みのお市民人権フォーラムの事務局を務めました。鳥越俊太郎さんをお招きし、講演していただきました。



茂木健一郎さん、湯浅誠さんと講演会を企画し、箕面で開催しました。